



## 災害対策について

いちじの会 西田 ひろみ

**問** 自然災害が多発していることから、3点の災害対策について市の見解を伺います。①東名高速道路海老名サービスエリアの利用者が、市の広域避難場所・避難所などへ避難することを想定した受け入れ体制や、避難訓練について。

②福島第一原発事故直後に原子力委員会の委員長は、事故が最悪化した場合、半径250キロ以内を避難ゾーンとしました。本市の250キロ以内に新潟県、柏崎刈羽、茨城県東海第一、静岡県浜岡の原発があり、30キロ以内の横須賀には原子力艦が寄港しています。偏西風も考慮し、放射能の子どもへの影響を最小限に食い止めるために、市が安定ヨウ素剤を備蓄しておくことについて。③東日本大震災や熊本地震では親が被災し子どもだけが救助され、自分がアレルギーだと表明できずに、避難所の備蓄食料品で発症した子どもがいたそうです。一回アレルギー児と分かるように、アレルギーバッジやシールなどを日常的に身に着けられるよう、市が希望者に配布することについて。

**答** (市長) : 災害時の対応は、国・県の指針などに基づくとともに、優先順位を慎重に判断し、限られた人的・物的資源を効果的に運用することが基本だと考えています。

**答** (市長室長) : ①避難者は避難所に誘導し、いっぱいになつた場合は補完避難所を開設する考えです。避難訓練は今後、中日本高速道路(株)と調整しながら研究したいと考えています。②原子力施設からの距離に応じた対応を定めている国の原子力災害対策指針にのつて、安定ヨウ素剤は備蓄していませんが、さらに研究していく中で必要性があれば考えていくたいと思います。③要援護者用のベストにシールを貼ることを考えていますが、日ごろからバッジやシールをつけることについては、皆さんの理解が得られるかどうか、少し慎重に研究したいと思っています。

・学校における性教育について

・他の質問



## 魅力ある店舗づくり 支援事業について

創志会 中込 淳之介



## 自殺予防策と 学校でのいじめ防止策について

太平会 氏家 康太

**問** 魅力ある店舗づくり支援事業は商工会議所を窓口に事業を開始して3年目を迎えています。この事業を使って店舗のリフォームを発注した方、受注した方の双方から大変良い制度だと喜びの声を聞いており、まさに市内商業の活力と地域経済の活性化につながる制度であると、高く評価しています。3年目を迎え、これまでの成果と今後の展望について伺います。

**答** (市長) : 魅力的で個性のある店舗が多くなることは、地域商業の活性化やまちのにぎわい創出の重要な要素であるため、商工会議所の協力を得ながら店舗のリフォームを促進してきました。来年は消費税が上がりますが、これから始める住宅リフォーム助成との整合性も含めて、店舗併用住宅に住む方にとつても使いやすい制度となるよう、来年度に向けて検討したいと思っています。

**答** (経済環境部次長) : 昨年度は35店舗に2090万円を助成しました。今年度はこれまで2回の募集で12店舗、520万円を超える申請額になっています。今後、あと2回ほど募集する予定です。

**問** 今年度の申請が12店舗とは、ちょっと寂しいように感じます。事業開始からの総申請件数は48店舗で、市内の小売業、飲食業の4%程度です。また、48店舗のうち43店舗は商工会議所の会員で5店舗は非会員です。商工会議所の非会員のところまで周知が行き届いていないのではないかと思いますが、その点について伺います。

**答** (経済環境部次長) : 広報えびなやホームページで周知していますが、商工会議所の会員以外の方にどういった方法で伝えられるのか、今後検討していきたいと思います。

内他市に先駆け、平成27年4月にいじめ防止条例を制定し、発生時の対応や委員会設置などについて規定しています。また、学校ごとに学校いじめ防止基本方針を策定し、早期発見のための方策を定め、組織的な対応体制を整えていました。いじめ防止には、教員の高い人権意識が重要であると考えるので、教員一人ひとりの人権意識を高めるような言葉かけを行っています。

その他の質問

・健康寿命延伸について